

## クリスマスシーズンスタート！

### アメリカNYとフィリピン



希望を持ってない子どもたちに、  
希望を届けるチャンスです！

今年も、子どもたちが楽しみにしているクリスマスシーズンがやってきます。しかし実際には、メトロの多くの子どもたちとその親にとってつらい時期になります。街中がクリスマスの雰囲気にも染まる中でありながら、日々の食事に事欠く状況では、クリスマスをお祝いする余裕がないからです。

ビル先生の子どもの時代と同じように、クリスマスツリーも何もない、いつもと同じ朝を迎え、いつもと同じ1日を過ごし、空腹のまま眠りにつきます。自分への特別なプレゼントなど、もらったこともない子どもがたくさんいます。

ビル先生の体験を生かし、一人一人の子どもたちのために、きれいにラッピングされたプレゼントを準備して、イエス様の誕生を伝えたいのです。

また、クリスマスメッセージが語られる週のメトロの教会学校に参加した子どもたち全員に、帰りにプレゼントを手渡します。それが、たった一つのクリスマスプレゼントだという子どももいます。どうぞ、一人でも多くの子どもたちに、「自分は、神様に覚えられている」ということを具体的に体験するチャンスを与えてください。

できる範囲で構いませんので、ご支援をお願いいたします。

私たちは、皆様のご協力によって、今年もまた、  
すべての子どもたちがクリスマスプレゼントを受け取ることができることを祈っています！  
お祈りとご支援をお願いします。

締切日は、国やご支援内容によって異なります。  
詳細は同封の申込用紙をご確認ください。



ネットからのお申し込みが便利です。→

<https://metroworldchild.jp/ohh-usph-ch/>



### OHH&ケニア就学支援

締め切りがそれぞれ違いますのでご注意ください。

**引き落とし日変更！10月27日**

今月から27日になります。ご注意ください

### 今月号の目次

P2…ビル師からのメッセージ

P3…ケニア就学支援のご案内／祈りの課題

P4…日本事務所からの重要なお知らせ

# ビル師からのメッセージ



9月に、私はアジアの十数名の牧師たちを連れて、数日間メトロ・フィリピンの日曜学校を訪問しました。ほとんどの方は、私たちがこれまで22年間にわたり、マニラの最も厳しい地域で日曜学校を行っていることをご存知だと思います。多くのゴミ捨て場やノース・セメタリー(北墓地)と呼ばれる有名な墓地、そしてスモーカーマウンテンとして有名なトンド地区が含まれています。

私は、その牧師や教会のリーダーたちに、私たちが運営する日曜学校のいくつかの場所を一緒に訪問してもらい、訪問者が来たときだけでなく、これらの子どもたちにとって日々の生活が実際にどのようなものであるかを直接見て理解してもらいました。

ゴミや糞尿の臭いと、耐え難い湿気と暑さが混ざり合い、住所すらない廃墟に住んでいる家族の姿。目の前の路上に置かれた棺に横たわっている亡くなった子どもの埋葬費用を稼ごうとしてギャンブルに興じる家族の姿。

そして、私たちが毎週関わっている何千人もの子どもたちが、あらゆる種類の愛や思いやりで飢えているのを目の当たりにして、胸が張り裂けるような思いにさせられます。



それで、同行したリーダーたちは、毎日、私がこう言っているのを聞いていました。「これが、メトロが道端や、路地、この地域で何をしているのかを実際にご理解いただくためにお連れした理由です。皆さんは、長年にわたってこれをサポートし、働きを実現させてくださったのです。今、皆さん方ご自身の目で、人目に触れない人々、貧困者の中で最も貧しい人々をご覧になっているのです」。周囲の状況は、一步踏み出すたびに、苛立ちと痛みが増してきました。私たちは今、ゴミ捨て場や墓地で生まれ育ったこの子どもたちと、その前の3世代の人生について説明しようとしています。

同行した牧師たちは、日中の活動を見学し、それでも十分に

ひどい現実でしたが、夜になると状況はさらに一変します。気温も少しずつ下がり始め、過ごしやすくなった気がするのですが、実はそれが悪夢の始まりなのです。人々が屋外に出て来始め、その多くが、麻薬でハイ状態になっていました。子どもたちは、空腹を紛らすために接着剤の匂いを嗅いでいました。私は、メトロのスタッフの一人が、裸の小さな男の子を抱き上げ、そっと抱きしめているのを見ました。こういうことのためにこそ、私たちはここにいるのです。

一週間ずっと言い続けていたこと「事態を理解するか、しないか、のどちらかです」を、その夜、目の当たりにしたのです。その夜、私たちが周囲を警戒しながら歩いていると、牧師やリーダーたちがひとりひとり私のところにやって来て、こう言いました。「あなたが言ったことがわかりました。私たちにわかるのか、わからないのかのどちらかです」。



そこで、リーダーたちが建物の間を歩きながら、小さな子どもたちが決して目にすべきではないものを見た様子を少しお見せしたいと思います。しかし、このビデオが実体験に勝るものではないことはおわかりでしょう。

あなたには、ゴミの匂いもしない、叫び声も聞こえず、ボロボロになった人々に触れることもできないでしょう。これは、誰の目にもとまらない、見捨てられた子どもたちが生きている、リアルな世界への入り口にすぎません。

なぜなら、もしそれを見れば、さらなる難問に直面せざるを得なくなるからです。私たちは歩きながら、これが単なる説教や伝道のための旅行ではないことを誰もが理解していました。それは、命の危機に瀕している子どもたちの目を見つめることなのです。

この夜の現地視察に参加してくださった方々に感謝しています。彼らとその教会、そして世界中の何千人もの皆さんのおかげで、これらの子どもたちの多くが高校を卒業することができ、大学に通ってる子さえいます。そしてそのうちの多くが、自分が子どもの頃に参加していた日曜学校で奉仕をしているのです。

私と共に現地を訪れてくださった牧師やリーダーたちと同じように、あなたにもそこを歩いていただきたいのです。おそらく今、あなた方のうち何人かが、同じようにこの場所を歩く時が来ているのかもしれませんが。私は教会に住んでいた幼い頃によく聞いていた古い讃美を口ずさんでいる自分に気づきました。「今日私は、イエスが歩いた道を歩きました。そして私は、そこにイエスの臨在を感じました」。

だから、共に歩きましょう。



動画をご覧いただけます

ビル・ウィルソン

# ケニア・就学支援募集開始！

ケニアの新年度は来年1月で、これから進学準備が始まります。締め切りまでにはまだ日にちがありますので、ぜひ支援をご検討ください。

子どもたちにとって学校を卒業することは大きな意味があります。学校に通わなければ、現地の言葉しか話すことができず、学校を卒業していなければよい仕事に就くことはできません。

しかし、日々の生活に追われ、学校に行くことの価値が理解できない親たちにとって、制服や学用品の準備にお金のかかる学校に行かせるのは、高いハードルです。どうぞ、親の負担を減らし、子どもたちが喜んで学校に通うことができるようにご支援をお願いします。詳細は、同封のお申込用紙で。

締め切り

11月25日

(土)



ネットでお申し込みいただけます

<https://metroworldchild.jp/ke-bac/>



## お祈りください！

あなたのお祈りは、確実に変化を生み出します。共に祈りください。

コロナウイルス感染症の大流行以来、飢餓状態の子どもの数は、世界中で増え続けています。

- このパンデミックの影響がまだ残る中で、世界中で働きも制限されていますが、メトロが関わる子どもたちとその家族の健康が守られるように。
- 神によって、子どもたちの両親が、日々の食事や住む場所、仕事などの必要が、さらに満たされるように
- 様々な困難な状況にもかかわらず、メトロの働きが効果的に続けられますように
- メトロの日曜学校のための新たな扉が開かれ、あらゆる方法を用いて、異なる環境に住む人々のために働きを続けられるように。
- 神がビル師にさらに力を与え、語る言葉に油を注ぎ、危険から守ってくださるように。

## ケニアの スポンサー募集中

あなたの周りに、子どものご支援をしていただける方はいませんか？

スポンサーが付けば、学校で給食が食べられるようになります。1日1食でも食べられるようになれば、生き延びることができ、学びにも集中することができるようになります。文字通り人生が変わるのです。

<https://metroworldchild.jp/metrogeneralp/>  
支援の詳細→



メトロが関わる子どもたちの数は、世界中でこの1年で毎週26万人から、40万人へと急速に増えています。そこでは毎週、イエス・キリストの福音が語られているのです。

しかし、その中には、まともに食べることもできないような、苛酷な状況で成長する子どもたちも数多くいます。その子どもたちに、主の恵みを形として届ける手伝いをしてください。

スポンサー申し込み→

<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>



REBUILDING FUTURES IN KENYA



# 日本事務所からの重要なお知らせとお願い

## 毎週40万人！

メトロ・ワールド・チャイルドの働きは、アフリカで急拡大しています。ケニア以外に、ブルンジ、ザンビア、タンザニア、ルワンダ、ボツワナの各国で、小学校の中で働きが始められたり手続きが進められています。

どの国も、子どもの数が非常に多く、一つの学校で働きを始めると、すぐに数千人の子どもに関わることとなります。今回始まったザンビアでの最初のメトロの教会学校の参加者は、なんと、41,002人。アフリカ以外にも、世界各地で次々とメトロへの扉が開かれ、キリスト教国以外でもメトロの働きが導入され始めています。

最新の報告では、関わる子どもの数が、毎週40万人を超えました。ご支援に感謝します。

## ビル師来日予定日3月下旬！

すでにお知らせしていますように、ビル・ウィルソン師のセミナーを来年3月に開催することになりました。

ビル先生は、スポンサーの皆様にご直接会ってお礼を言わなければならないので、来年は必ず開催したいということです。

開催日程は、3月17日(日)～24日(日)の予定です。開催場所などの詳細は未定です。ご自分の教会や地域で開催をご希望の方は、すぐにご希望をお知らせください。

また、お近くの会場で開催されるセミナーに、お知り合いの方と共にお休みを取ってでも必ずご参加ください。よろしくお願いいたします。

## ！ 違いを生み出す月曜日！

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお願いたします。コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、ケニアでは、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。現地を訪問した若いスタッフは、その悲惨さを目撃して、「違いを生み出す月曜日」のキャンペーンを提案。一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと努力しています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



## 日本事務所よりごあいさつ！

皆様お元気でしょうか？本格的な実りの秋を迎えようとしています。皆様の生活の中で、神様からの豊かな恵みを感じられる日々となりますようにお祈りしています。

いよいよクリスマスを目撃する時期になりました。世界中の過酷な環境に生きる子どもたちが、救い主の誕生を祝うことができるようにご支援をお願いいたします。

また、メトロの働きは、世界各地で急激に成長しています。驚くほど多くの子どもたちに、福音が伝えられるチャンスが次々と与えられています。

しかし同時に、支援を必要とする子どもたちの数も増え続けています。もし、もう一人別の子どもをご支援いただけるか、身近な方でスポンサーになってくださる方がいらっしゃいましたら、お知らせください。

皆様の上にも、主からの格別な祝福と恵みがございませうお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



# メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン